

一主婦からの新発田市政通信

発行者 青木三枝子（市政を考える会）

新発田市御幸町 3-1-21

TEL 0254-26-8334

平成 25 年 9 月 第 4 号

私には、これまで「新庁舎を考える会」として共に新庁舎問題を考え行動してきた仲間がいます。その人達と共に、新たに「市政を考える会」として活動することになりました。この 4 号から、一主婦という立場と、この会の一員としての立場から通信を出すことに致しました。新庁舎や図書館問題のみではなく、市政全般について、主婦目線で市政をみていくことを忘れずこの通信を出して行くつもりです。これからも宜しくお願い致します。

1 「市長への手紙」を出しました。

拝啓、9 月議会も始まり、御忙しい毎日をお過ごしのこととお察し致します。この度、駅前複合施設建設に伴い、図書館を分館として建設をする計画が進められています。私は、この問題を契機にして、新発田市の名誉市民である坪川洵平氏が昭和 3 年に新発田町立図書館を建設された経緯を知りました。その生き様を知るため、現図書館で名誉市民坪川翁「わが町とわが人生」を借りて読んでいます。読み進むにつれ、この坪川氏がどのような想いで新発田市に図書館を建てられたのかをお伝えしたいと思い、僭越とは思いましたが市長への手紙とすることに致しました。

坪川氏は新発田藩士の家庭に生まれ、紆余曲折しながら努力し浪速製紙（現三菱製紙浪速工場）の常務取締役となりました。図書館建設には貯蓄では足りず、重役を辞す際の報奨金を当てての建設でした。生活はつつましく、贅沢をせず全てをこの図書館建設につき込みました。そして、色々な苦難がありながらも乗り越え、現在の市民文化会館と露谷小路記念館あたりに図書館を完成させたのです。彼は、図書館落成式での挨拶で「私は金持ちでは無い、また相場で儲けた訳でもない。世間の富豪が寄付するものとは趣を異にしている。結局私の寄付は私の血と汗の結晶を差し上げるものであるという点をご承知願いたい。」と述べています。坪川氏は現実の社会の乱れは、人間が生まれてきた究極の目的を忘れていたからである、「人類の等しく抱くべき最高の目的、又は理想は、明るい、浄らかな、朗らかな社会を現出する事である」と言っています。その坪川氏の生きる上での究極の目的が具現化され、遙か一万年後を見据えて、故郷新発田市の図書館設立となったのです。新発田市民はこの事を忘れてはならないと思います。

坪川氏は、図書館建設後、昭和 13 年に附属の図書会館を建設し、その目的を第一、人格の養成、第二、知識の啓発、第三、産業の振興としています。産業の振興では、新発田の人は引込思案なのでもっと積極的になり、産業振興のためにこの図書会館で研究して欲しいと述べています。また、記念碑には「真理の光を求め、栄光の道を進みなさい。人のために働く意志を持って。」という意味のことが英語で記されています。光こそが真理であり神であ

る。これを求めていくことが栄光への道となり、この道を進むことが人間の使命である。世界にその光を与えるよう使命を果たして欲しいと坪川氏は述べています。

鳥取出身の私は、建設当初の図書館も知りません。ましてや、坪川氏という方の事も全く知りませんでした。しかし、本を読めば読む程、この様な方が新発田市に存在していたことに感動すると共に、図書館建設は新発田市にとって重要なことであり、彼の精神を忘れてはならないと強く思うようになりました。

私は、坪川氏の想いに叶う理想的な図書館は、駅前ではなく、坪川氏の私邸があった外ヶ輪近郊である現図書館横に建てるのが望ましいと考えます。本館として現図書館を残すと言われても、一般図書が駅前に移るのですから、坪川氏の想いとは異なったものになるように思います。子供から高齢者まで世代を超えた市民が集えるような理想の図書館を建て、合併した地域の方は勿論、新発田市を訪れた観光客に、この図書館に来て頂きませんか。駅前から歩いて来られた観光客に、休んで頂けるような図書館にしましょう。そして新発田市図書館建設の歴史について知って頂きましょう。きっと私のように感動されると思います。

もっとゆっくり、坪川氏の言われるように、一万年後を見据えて、行政市民が共に協力し図書館を始めませんか。現市民は勿論、全国の新発田出身者に寄付を募ってはいかがでしょうか。寄付をして下さった方が故郷に戻った時、きっと図書館を訪れて下さるでしょう。結果として中心市街地の活性化につながると考えます。

駅前複合施設には、当初からの市長のお考えのようにミニ図書館で十分と考えます。今の案では、あまりにも多くの問題点があり、どうしても坪川氏の精神に合致するとは思えないのです

図書館建設が坪川氏の意に沿うものであって欲しいと切に願います。坪川氏の想いを知って頂き、どうか図書館建設を再考して頂きます様お願い致します。この手紙に対する返事を下さるようお願い致します。

以上、私の「市長への手紙」の全文を掲載致しました。

2 9 月議会が始まりました。

9 月 2 日議会の行政報告がありました。その中で、駅前複合施設と併設し、民間が建てる予定の学生のための入居棟の基本設計料の一部補助に約 640 万円、市が取得した旧ハヤカワ駐車場の整備工事に約 2338 万円、新庁舎本体外工事前の地域交流センターの支障物撤去及び移設工事に約 2839 万円の予算が計上されています。箱物市政により誰が潤うのでしょうか。

いつも議会を傍聴しているのは、私を含む女性 2 名です。皆様も議会を傍聴しませんか。色々な事に気づきます。